

2016 年後期 (11 月 9 日) 教育課程論 リアクシヨソ

番号 名前
自我(アインシュタイン)について考えるーエリクソンと宮崎駿からー

- 1 エリクソンの各段階の達成課題を書きなさい。(新谷、藤崎参照)
- 乳児と養育者との関係性
 - 受容される関係性
 - 自己との関係性
 - 他人との関係性
 - 社会との関係性
- 2 アインシュタインの達成になぜ、相互性が必要か(井上参照)
- 「他人の立場を自己の個性化に機能する行為が同時に自己自身の個性化につながる」ということ。それは、他人との協調から成り立つものである。という事。なので、自己と他人の関係は、相互性が必要である。
- 3 「千と千尋の神隠し」に対する本橋氏の解釈のポイントは何か。(本橋参照)
- 自己のアインシュタインを獲得し、同時に他人のアインシュタインをも構築できる。
- そして自分の言葉において語りかける物語を他者に対して開き取って行くことで、自分自身が過去と現在と結びついたりして、自己のアインシュタインを構築する。
- 4 「千と千尋の神隠し」の「神隠し」とは何を隠しているのか。(村瀬学 7 章参照)
- 「カウソウ」の「カウソウ」が「カウソウ」が「カウソウ」を「カウソウ」させている。近代的な欲望に気がつく。それは千が出た日、命を運した「カウソウ」をその象徴として、物語とつながっている。
- 5 宮崎駿の「真海」とは何か(村瀬学「宮崎駿の『深み』」参照)
- 自由に生きる人と出会い、という意味で、人から人の言葉を「聞き」取り、それによって、自分自身が「真海」として、「真海」として、再生している。
- 6 映画「千と千尋の神隠し」の感想
- 「真海」として、再生している。
- 「カウソウ」の「カウソウ」が「カウソウ」を「カウソウ」させている。
- 「カウソウ」の「カウソウ」が「カウソウ」を「カウソウ」させている。

2016 年後期 (11 月 9 日) 教育課程論 リアクシヨソ

番号 名前
自我(アインシュタイン)について考えるーエリクソンと宮崎駿からー

- 1 エリクソンの各段階の達成課題を書きなさい。(新谷、藤崎参照)
- 1. 信頼
 - 2. 自律性の獲得
 - 3. 自主性
 - 4. 勤勉性
 - 5. 自己同一性 + 同一性混じり 排拒
 - 6. 親密性
 - 7. 世代性 → 自己的
 - 8. 統合性 → 規範感
- 2 アインシュタインの達成になぜ、相互性が必要か(井上参照)
- 相互性とは、アインシュタイン概念を包括するより大きな枠組として概念が存在している。それは、(他者との関係性)を同じように自分をも確保すること。→ 他者の存在を機軸として、規範を形成する行為が、同時に自己自身の存在を確保する行為である。(利他性と利己性の一致)
- 3 「千と千尋の神隠し」に対する本橋氏の解釈のポイントは何か。(本橋参照)
- 自己と語り (自己が物語語らることによってアインシュタインを構築する。)
- 自己のアインシュタインは、自分の言葉によって語りかける物語を他者に開き取って行くことで、自己自身が過去と現在と結びついたりして、自己のアインシュタインを構築する。
- 4 「千と千尋の神隠し」の「神隠し」とは何を隠しているのか。(村瀬学 7 章参照)
- 「カウソウ」の「カウソウ」が「カウソウ」を「カウソウ」させている。近代的な欲望に気がつく。それは千が出た日、命を運した「カウソウ」をその象徴として、物語とつながっている。
- 5 宮崎駿の「真海」とは何か(村瀬学「宮崎駿の『深み』」参照)
- 自由に生きる人と出会い、という意味で、人から人の言葉を「聞き」取り、それによって、自分自身が「真海」として、「真海」として、再生している。
- 6 映画「千と千尋の神隠し」の感想
- 「真海」として、再生している。
- 「カウソウ」の「カウソウ」が「カウソウ」を「カウソウ」させている。
- 「カウソウ」の「カウソウ」が「カウソウ」を「カウソウ」させている。

アインシュタインの確立のために

① 自身の本に保たれた同一性

② 他者との関係のありさ / 保たれた同一性

2016年後期 (11月9日) 教育課程論 リアクシヨソ

自我(アインシュタイン)について考えるーエリクソンと宮崎駿からー

1 エリクソンの各段階の達成課題を書きなさい。(新谷、藤崎参照)

- 第1: 自律性 <自律性> 第3: 自主性 <自主性> 第5: 親密性 <親密性> 第7: 成人期 <成人期>
- 第2: 自律性 <自律性> 第4: 親密性 <親密性> 第6: 親密性 <親密性> 第8: 親密性 <親密性>

2 アインシュタインの達成になぜ、相互性が必要か(井上参照)

他者との関係のありさ / 保たれた同一性

自己の側面を自己の側面から見るのではなく、他者の側面から見る。自己の側面を自己の側面から見るのではなく、他者の側面から見る。

自己の側面を自己の側面から見るのではなく、他者の側面から見る。自己の側面を自己の側面から見るのではなく、他者の側面から見る。

3 「千と千尋の神隠し」に対する本橋氏の解釈のポイントは何か。(本橋参照)

「千と千尋の神隠し」は、千の成長物語である。千は、最初は自分自身の世界に閉ざっていたが、神隠しを経験することで、他者の世界とつながり、成長していく。

4 「千と千尋の神隠し」の「神隠し」とは何を隠しているのか。(村瀬学7章参照)

「千と千尋の神隠し」の「神隠し」とは、千の成長物語である。千は、最初は自分自身の世界に閉ざっていたが、神隠しを経験することで、他者の世界とつながり、成長していく。

5 宮崎駿の「廣海」とは何か(村瀬学「宮崎駿の『深み』」参照)

「廣海」とは、千の成長物語である。千は、最初は自分自身の世界に閉ざっていたが、神隠しを経験することで、他者の世界とつながり、成長していく。

6 映画「千と千尋の神隠し」の感想

「千と千尋の神隠し」は、千の成長物語である。千は、最初は自分自身の世界に閉ざっていたが、神隠しを経験することで、他者の世界とつながり、成長していく。

2016年後期 (11月9日) 教育課程論 リアクシヨソ

自我(アインシュタイン)について考えるーエリクソンと宮崎駿からー

1 エリクソンの各段階の達成課題を書きなさい。(新谷、藤崎参照)

- 第1段階: 自律性 第4段階: 親密性 第7段階: 成人性
- 第2段階: 自律性 第5段階: 親密性 第8段階: 親密性

2 アインシュタインの達成になぜ、相互性が必要か(井上参照)

他者との関係のありさ / 保たれた同一性

自己の側面を自己の側面から見るのではなく、他者の側面から見る。自己の側面を自己の側面から見るのではなく、他者の側面から見る。

3 「千と千尋の神隠し」に対する本橋氏の解釈のポイントは何か。(本橋参照)

「千と千尋の神隠し」は、千の成長物語である。千は、最初は自分自身の世界に閉ざっていたが、神隠しを経験することで、他者の世界とつながり、成長していく。

4 「千と千尋の神隠し」の「神隠し」とは何を隠しているのか。(村瀬学7章参照)

「千と千尋の神隠し」の「神隠し」とは、千の成長物語である。千は、最初は自分自身の世界に閉ざっていたが、神隠しを経験することで、他者の世界とつながり、成長していく。

5 宮崎駿の「廣海」とは何か(村瀬学「宮崎駿の『深み』」参照)

「廣海」とは、千の成長物語である。千は、最初は自分自身の世界に閉ざっていたが、神隠しを経験することで、他者の世界とつながり、成長していく。

6 映画「千と千尋の神隠し」の感想

「千と千尋の神隠し」は、千の成長物語である。千は、最初は自分自身の世界に閉ざっていたが、神隠しを経験することで、他者の世界とつながり、成長していく。